

北海道の印刷

PRINTING INDUSTRY IN HOKKAIDO

第 719 号

[Website] <http://www.print.or.jp>

[E-mail] info@print.or.jp

4

2016

平成28年
4月10日発行

INDEX

印刷燦爛	3
HOPE2016出展ならびにセミナー出講の募集案内	4・5
北印工組独自の共済事業「団体扱給油事業」案内	6
平成27年度顧問・相談役会議開催	7
平成28年度オフセット印刷技能検定案内	7
平成27年度補正予算「中小企業等の省エネ・生産性革命投資促進事業補助金」公募案内	8・9
「北海道における働き方改革・雇用環境改善に向けた共同宣言」採択	10・11
業界のうごき	11

《表紙》水芭蕉〔道立自然公園野幌森林公園〕札幌市厚別区（4月）

北海道印刷工業組合

〒064-0808 札幌市中央区南8条西6丁目1036番地
TEL.011-562-6070/FAX.011-562-6072

UD
FONT
by MORISAWA

100%
古紙100%再生紙

VEGETABLE
OIL INK

ISO 14001 認証
環境マネジメントシステム
ISO 9001 認証
品質マネジメントシステム

CSR
P-00023

この印刷物は、CSRに
取り組む印刷会社が製作
した印刷物です。

印刷 燦 燦

人工知能

人工知能（AI: Artificial Intelligence）は記憶や学習といった人間の知的な活動をコンピューターに肩代わりさせることを目的とした研究や技術のこと。（Webより）

昨今、スマホに搭載されたSIRIや囲碁や将棋で人間に勝利したニュースで話題となっている人工知能ですが、急速に注目されるようになったのは、ディープラーニング（Deep Learning）という機械学習という技術の存在があるようです。

先日TV番組でバラエティプロデューサーの角田陽一郎氏が、2045年問題と言われる人工知能が人間の知能を凌駕する時代の予測を話していたのが面白いと思ったので紹介させていただきます。

まず、人間のIQは100で、天才と言われる人でも200という中で、人工知能はIQ10000。

全く想像できない…。

その人工知能がディープラーニングで、プログラミングし新たな人工知能を生み出していく。

好きなことを仕事にしたいという願望がある。だが、人工知能の発達によりやりたくない仕事が無くなった場合、好きなことを仕事にするしかなくなり、好きなことをどのように仕事にしていけるか考えなくては行けない未来になる。

タレント＝才能であるが、才能で食っていく時代ですべての人がタレント化していくのではないかと。現在TVに出ているタレントさんはそれをすでにやっているが、全ての人が芸能人になるわけではなく、SNSや自分の趣味で稼ぐ人など自分の意見を世の中に出して形にしてビジネスにしていける、自分の人生をエンターテインメントにして稼ぐ時代になるのではないかと。という話でした。

ビジネスマンとして「稼ぐ」ということは最重要目的の一つとして、常日頃様々な手法を用いて仕事をしていると思います。しかし、過去の色々な想像・空想が現実化している現在ですら進歩を感じるのに、IQ10000の想像できない世界を自分の目で見られることを約30年後の楽しみにしたいと思います。

北海道印刷工業組合 理事・青年部事業委員長 **岡部信吾**

北陽ビジネスフォーム株式会社 取締役統括部長

HOPE2016

出展・セミナー出講の募集開始

HOPE実行委員会は、今年から装いを新たに9月2日(金)、3日(土)の2日間、アクセスサッポロで開催する「HOPE2016」の出展ならびにセミナー出講の募集を行っています。

HOPE2016 ご出展ならびにセミナーご出講のお願い

印刷資機材・情報機器製造ならびに販売各社の皆様には、平素から道内印刷関連業界に対しまして格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

これまで皆様にご協力をいただき1993年（平成5年）から23回にわたり開催してきました「北海道情報・印刷産業展」は、新しい展開を模索することとし昨年度の開催をもって終了することにしました。

今、印刷関連業界は、取り巻く環境が様変わりし、未曾の転換期にあり、勝ち残っていくためには、ソリューション・プロバイダーへの深化が求められています。

そのためには、ハードとソフトの両方に着眼していかなければならず、新しい目線で印刷産業を捉えることができるよう、学びに主眼を置いた印刷産業展として、印刷産業が発展を遂げられるようにしていかなければなりません。

このような状況を鑑みまして、今年度から印刷産業展は、これまで培ってきました「北海道情報・印刷産業展」の伝統と成果を踏まえて、スタイルと内容を変えて、展示とセミナーを組み合わせ、学びと情報発信の場として、新しく「HOPE」（HOKKAIDO PRINT EXPO）として生まれ変わり開催して参ります。

第1回となります「HOPE2016」を9月2日(金)・3日(土)の2日間、札幌市白石区のアクセスサッポロで開催します。

印刷資機材・情報機器製造ならびに販売各社の皆様には、ICT時代を切り開く大きな戦力や武器となる最新の機器・機材・資材等のご出展ならびに企業発展に寄与する経営・技術情報等のセミナーをご出講いただきたくお願い申し上げます。

印刷関連業の皆様には、自社のコラボレーションビジネス情報発信の場としてご出展ならびにご出講いただきたくお願い申し上げます。

平成28年4月

HOPE実行委員会 会長 板倉 清

【HOPE2016開催要領】

1. 日 時 平成28年9月2日(金)・3日(土) 午前10時～午後5時
2. 会 場 アクセスサッポロ（札幌市白石区流通センター4丁目3番55号）
3. テー マ 「印刷の未来を創る! — ソリューション・プロバイダーへの深化 —」
4. 展 示 Dホール 76小間

5. セミナー	会場名	収容人員	10:30~12:00	13:00~14:30	15:00~16:30
9月2日(金)	小 展 示 場	120	基 調 講 演	①	④
	研 修 室 A	80		②	⑤
	レセプションホール	80		③	⑥
9月3日(土)	小 展 示 場	120	主 催 者 セ ミ ナ ー	⑦	⑩
	研 修 室 A	80		⑧	⑪
	レセプションホール	80		⑨	⑫

※会場の詳細は、アクセスサッポロのホームページ (<http://www.axes.or.jp>) を参照ください。

【出展およびセミナー出講募集要領】

1 展示会

- (1) 出 展 料 金 1小間(間口3,000mm×奥行2,500mm×高さ2,400mm)
110,000円(消費税別)
※基本装飾(3面パネル・社名板のみ)、基本電気
設営、電気使用料を含みます。
- (2) 搬入・設営 8月31日(水) 午前10時～午後5時
9月 1日(木) 午前 9時～午後5時
- (3) 撤去・搬出 9月 3日(土) 午後 5時～午後9時

2 セミナー

- (1) 出講料金
- | | |
|----------|----------------|
| 120人収容会場 | 180,000円(消費税別) |
| 80人収容会場 | 160,000円(消費税別) |
- ※プロジェクター、スクリーン、マイクは実行委員会
で用意します。それ以外のものは各社でご用意く
ださい。
- (2) 開催方法
- ① 2日間で14小間のセミナー枠を設け、うち12
小間を販売します。
- ② セミナーは、実行委員会で選定したテーマ・講
師にご協賛いただく【主催者企画セミナー】
と、セミナー購入会社のオリジナルテーマ・講
師で開催いただく【出展社企画セミナー】の
二通りがあります。
【主催者企画セミナー】は、基本的に120人収
容会場を使用します。
- ③ 【主催者企画セミナー】のテーマおよび講師
は、話題性、他セミナーでの評価等考慮し選定
します。具体的内容は、現在策定中です。
- ④ 【主催者企画セミナー】の特典
- ガイドブックに協賛会社名を明示したセミ
ナー案内を掲載します。
 - 自社製品のパンフレット等広報物を受講者
に配布できます。
- ⑤ 【出展社企画セミナー】開催の場合は、講師の
謝金(50,000円)・交通宿泊費(70,000円)
は主催者で負担します。
それ以上の費用が発生した場合は、開催会社の
負担とします。金額は、消費税込の金額です。
- ⑥ セミナー受講料は、原則、無料とします。
- ⑦ 受講者募集の周知は、実行委員会およびセミ
ナー購入会社が協力して行います。
- ⑧ お申込みいただいたセミナー開催希望日は、

調整させていただく場合があります。

(3) 時間 1セミナー：90分

3 申込方法

出展・セミナー出講申込書(北印工組ホームペー
ジからダウンロード)に必要な事項をご記入の上、下
記へお申込みください。

HOPE実行委員会

〒064-0808

札幌市中央区南8条西6丁目1036番地 エイト会館
北海道印刷工業組合内

TEL011-562-6070 FAX011-562-6072

[e-mail] info@print.or.jp

[U R L] http://www.print.or.jp

4 申込期日

平成28年5月25日(水)

ただし、申込先着順とし、満小間になり次第、募集を
締め切ります。

5 出展・出講料支払

募集締切後、請求書をお送りさせていただきます。
納入期限は、平成28年7月29日(金)とさせて
いただきます。

6 展示会配置図およびセミナー時間割

7月上旬開催予定の「出展社説明会」でお知らせ
します。

7 ポスター、ガイドブック(7月上旬作製予定)

希望の場合は、出展・セミナー出講申込書に記入く
ださい。なお、配付数については調整させていただ
く場合があります。

8 展示会での特別装飾・照明(有料)

希望の場合は、出展・セミナー出講申込書にご記入
ください。

9 貸出備品、会場使用の注意事項等について

「出展社説明会」でお知らせします。

《お問い合わせ先》

HOPE実行委員会

〒064-0808

札幌市中央区南8条西6丁目1036番地 エイト会館
北海道印刷工業組合内

TEL011-562-6070 FAX011-562-6072

[e-mail] info@print.or.jp

北印工組独自の共済事業「団体扱給油事業」のご案内

ガソリン・軽油が市価より廉価

北海道印刷工業組合は、独自の共済事業として、ガソリン・軽油が市価より廉価で購入できる「団体扱給油事業」を実施している。

団 体扱給油事業は、これまでフェリーロード協同組合と連携して行っていたが、組合員により有利な条件で利用いただくため新たに陸自総合協同組合と業務委託の契約を行った。

この団体扱給油事業は、ガソリンと軽油が対象で、組合員企業の自動車の給油を団体扱いで取り扱うことにより、市販のガソリン・軽油価格より廉価で購入できることから、組合員企業の経費削減の一助を目的としている。

また、従業員の自動車も対象になるので福利厚生の上にも利用できる。

対象製品は、ハイオクガソリン、レギュラーガソリン、軽油の3種類となる。

給油先は、ENEOS、コスモ、出光の全道のガソリンスタンドとなり、同一の看板（メーカー）であれば、ど

のスタンドで給油しても契約価格で給油でき、代行手数料は不要でとなる。

価格は、資源エネルギー庁石油情報センターの当月全国平均価格からガソリンは4円引き（コスモは5円引き）、軽油は同じく7円引き（コスモは8円引き）となり、これが基準価格となる。

実際の販売価格は、この基準価格を下回る価格で取引が行われている。（下表参照）

給油方法は、給油カードを使用し、キュッシュレスで後払い（口座振替・振込み）となる。

また、利用明細が発行されるため車両管理にも役立てることができる。

この制度の利用にあたって、出資金10,000円（退会時に返還）と1法人1,200円の年会費が必要で、加入にあたっては与信審査がある。

団体扱給油事業 直近6ヵ月の販売実績価格（陸自総合協同組合）

基準価格 資源エネルギー庁石油情報センター

レギュラーガソリン（ENEOS・出光）

（単位：1リットル当たり価格）

年／月	北海道 平均価格 A	全 国 平均価格 B	陸自総合協同組合		利用差額 E D-A
			契約販売価格 C (全国平均-4.0円)*	販売実績価格 D	
2015/ 9	132.1	135.1	131.1	129.1	-3.0
2015/10	132.2	133.9	129.9	126.3	-5.9
2015/11	129.7	131.1	127.1	124.1	-5.6
2015/12	123.6	125.8	121.8	112.3	-11.3
2016/ 1	115.6	117.9	113.9	106.9	-8.7
2016/ 2	110.3	113.1	109.1	103.8	-6.5

*COSMOは、全国平均の5.0円引きになる。

軽油（ENEOS・出光）

（単位：1リットル当たり価格）

年／月	北海道 平均価格 A	全 国 平均価格 B	陸自総合協同組合		利用差額 E D-A
			契約販売価格 C (全国平均-7.0円)*	販売実績価格 D	
2015/ 9	112.8	113.7	106.7	103.7	-9.1
2015/10	112.8	112.3	105.3	101.7	-11.1
2015/11	110.6	110.5	103.5	101.7	-8.9
2015/12	106.1	107.8	100.8	99.7	-6.4
2016/ 1	99.6	102.3	95.3	91.7	-7.9
2016/ 2	94.9	98.3	91.3	87.4	-7.5

*COSMOは、全国平均の8.0円引きになる。

平成27年度顧問・相談役会議開催

平成27年度顧問・相談役会議が、3月17日正午から札幌市中央区のエイ会館で、顧問4人の出席をいただき開催された。

顧問・相談役会議は、飯村俊幸顧問、岡部康彦顧問、木野口功顧問、西山恒夫顧問のご臨席をいただき開催された。

会議は、板倉理事長のあいさつの後、平成27年度事業実施状況、平成28年度執行体制、HOPE、組合創立80周年記念誌の編纂について説明が行われた。

つづいて、組合の運営方法、事業推進方法などについて、ご意見をいただいた。



平成28年度オフセット印刷技能検定のご案内

平成28年度オフセット印刷技能検定が下記により実施される。

技能検定は、産業界で活躍する技能者の方々の技能と社会的地位の向上を図るため、職業能力開発促進法に基づいて実施されている。

印刷職種では、印刷技術力のワンランクアップと生活・文化に貢献する高品質の印刷製品を常に供給できる力を培うことなどを目的に「オフセット印刷作業」の技能検定が実施されている。

1. 職 種 オフセット印刷1級および2級
2. 受 検 受 付 平成28年4月4日(月)から平成28年4月15日(金)まで
3. 検 定 日 実技：平成28年7月中旬～下旬 / 学科：平成28年8月28日(日)
4. 受 検 地 実技：札幌市の指定する会場
学科：札幌市・旭川市・函館市・滝川市・北見市・室蘭市・帯広市・釧路市の指定する会場
5. 受 検 手 数 料 実技17,900円／学科3,100円
6. 受検申請・問合せ先 北海道職業能力開発協会または各地方職業能力開発協会

※平成28年度後期に「DTP技能検定」が再開します。

平成28年経済センサス—活動調査を実施します。

- ▶平成28年6月1日現在で、全国すべての事業所・企業を対象に経済センサス—活動調査を実施いたします。
- ▶調査結果は、各種行政施策をはじめ、地域の産業振興や商店街の活性化などの地域行政のための基礎資料として活用されます。
- ▶調査の趣旨・必要性をご理解いただき、調査票がお手元に届きましたら、ご回答をよろしくお願いいたします。

総務省・経済産業省・北海道・市町村

経済センサスキャラクター



平成27年度補正予算 「中小企業等の省エネ・生産性革命 投資促進事業補助金」公募受付中

経済産業省は、平成27年度補正予算「中小企業等の省エネ・生産性革命投資促進事業補助金」の募集を行っている。

同 補助金は、一般社団法人環境共創イニシアチブ（略称：SII）が、審査・補助金の交付を行う。

この補助事業の補助率は補助対象経費の3分の1以内で、上限額は1事業所1億円、下限は50万円（中小企業者および個人事業主の場合は30万円）となっている。

① 事業の目的

「一億総活躍社会」を実現する「強い経済」を実現するためには、中小企業等への省エネルギー設備の導入支援を行うことで投資を促進し、生産性を向上させる必要がある。

また、我が国は経済と世界最高レベルの省エネルギー水準を達成している中、今後さらに「長期エネルギー需要見通し」に基づき、2030年度において、最終エネルギー消費で5,030万kl程度の省エネルギーを達成していく必要がある。

本事業は、省エネルギー性能の高い機器及び設備の導入により事業活動における省エネルギーを推進することで、事業活動の生産性を高めるとともに省エネルギーを促進し、中小企業等の競争力を強化することを目的とする。

② 補助対象事業

① 日本国内で既に事業活動を営んでいる既築の工場、事業場・店舗等（以下「事業所」という）において使用している設備を更新する事業であること。

※新たに事業活動を開始する新築・新設の事業所へ導入する設備は対象外とする。

※既存の事業所において新たに設備を設置する場合は対象外とする。

※居住に使用する事業場等における設備更新は対象外とする。

② 既存設備を省エネルギー性の高い補助対象設備へ更新することにより、省エネルギー効果が得られる

事業であること。

【補助対象設備に定める設備区分】

○高効率照明・高効率空調・産業ヒートポンプ・業務用給湯器・高性能ボイラ・低炭素工業炉・変圧器・冷凍冷蔵・FEMS（FEMSの導入は、FEMS導入補助公募要領を参照）

③ 補助事業者は事業終了後、補助対象設備の1か月間のエネルギー使用量を基に前年同月のエネルギー使用量と比較することで省エネルギー量を算出し、その1か月分の削減比率から12か月分の省エネルギー量を算出した上で、事業完了後90日以内にSIIへ成果を報告できること。但し、前記によりがたい補助事業者は事業完了後1年間のデータを取得し、データ取得完了後90日以内に補助事業の内容及び成果をSIIに報告することも可とする。

※省エネルギー量の成果報告の実勢が、交付決定時の計画値に対して未達の場合、支払済の補助金が返還となる場合がある。

④ SIIが必要と認めたものについては、その事業の交付申請及び成果報告の内容を公表できる事業であること。

③ 補助対象事業者

① 国内において事業活動を営んでいる法人及び個人事業主。

※個人事業主は、青色申告者であり、税務代理権限証書の写し、又は税理士・会計士等により申告内容が事実と相違ないことの証明（任意様式）、又は税務署の受取り受領印が押印された確定申告書Bと所得税青色決算書の写しを提出できること。

② 原則、本事業により国内において設置する補助対象設備の使用者であること。

※リース、ESCOを活用し、設備使用者と導入設備の使用者が異なる場合、設備使用者と所有者で共同申請を行うこと。

※割賦販売は対象外とする。

③ 法定耐用年数の間、導入設備等を継続的に維持運用できること。

- ④導入した補助対象設備等に関する使用状況や設備導入による事業効果等について、SIIあるいは国からの依頼により調査を実施する場合、必ず協力すること。
- ⑤経済産業省から補助金等停止措置又は指名停止措置が講じられていない者でること。

④補助対象設備

- ①既存設備と導入する補助対象設備の使用用途が同じであること、
- ②導入する設備が兼用設備又は将来用設備あるいは予備設備等でないこと。
- ③償却資産登録される設備（固定資産として登録される設備）であること。
- ④導入する設備がトップランナー基準のある設備区分の場合、基準エネルギー消費効率以上の設備であること。
- ⑤エネルギー消費を抑制する目的と関係のない機能やオプション等を追加していない設備であること。但し、省エネルギー効果が伴う機能、オプション又は付帯設備が、一体不可分の設備として出荷される場合その限りでない。
- ⑥その他の法規的な定めによる安全上の基準等を満たしている設備であること。
- ⑦原則、既存設備は事業完了日までに廃棄を行うこととする。新設設備の安全稼働まで既存設備を保有する等、特別な理由がある場合には、SIIに相談し確認を受けなければならない。

⑤補助対象経費

購入する補助対象設備の設備費用のみとする。
設備区分毎に省エネルギー基準を規定した「見積依頼仕様書」に基づき、原則3者以上による価格競争等を実施した結果、最低価格であった設備費用を補助対象経費の上限とする。

《補助率及び補助金額》

補助率は、補助対象経費の3分の1以内とする。

《補助金額の上限額及び下限額》

上限額1事業者当たり1億円

下限額1事業者当たり50万円

（中小企業者及び個人事業主30万円）

⑥公募期間

1次公募：平成28年3月22日(火)～

平成28年4月22日(金) 17時必着

2次公募：第1次公募採択後速やかに実施する。

※1次公募の予算枠は、早期執行の観点から全体予算の7割とする。

⑦問い合わせ先

一般社団法人環境共創イニシアチブ

TEL0570-783-755（ナビダイヤル）

IP電話からの問い合わせ TEL042-303-1533

「電話受付時間」平日9：00～17：00

ホームページ <http://sii.or.jp>

「北海道における働き方改革・雇用環境改善に向けた共同宣言」を採択

昨年12月24日に、若者や女性、非正規雇用労働者をはじめとする北海道で働く全ての人々の労働環境や処遇の改善等に向け、働き方改革による仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）や女性の活躍推進を含めた雇用環境改善に対する取組の気運の醸成を図るため、北海道内の労使団体の代表者、北海道知事、札幌市長および国の関係機関の長で構成する「北海道働き方改革・雇用環境改善推進会議」が開催され、「北海道における働き方改革・雇用環境改善に向けた共同宣言」を採択した。

同推進会議は、北海道経済連合会、一般社団法人北海道商工会議所連合会、北海道中小企業団体中央会、北海道商工会連合会、日本労働組合総連合会北海道連合会、北海道、札幌市、北海道経済産業局、北海道労働局の5団体4機関で構成されている。

北海道における働き方改革・雇用環境改善に向けた共同宣言 ～全ての人々が健康で安心して活躍できる社会に～

北海道の人口は、平成9年に約570万人をピークに、全国より約10年早く人口減少局面に入り、平成22年の人口はピーク時より約19万人少ない550.6万人となり、今後も人口減少が進行することが見込まれています。

また、北海道の就業者数については、今後、経済成長と労働参加が適切に進まなかった場合、平成42年には203.5万人と、平成26年から50.6万人減少することが見込まれています。

こうした中、北海道の活力と成長力を高め、持続可能な社会をつくる観点から、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現とともに、経済の好循環を更に進めていくため、企業における人材の確保・定着が求められています。

北海道の労働時間は、年間総実労働時間（平成26年）が2,060時間で全国平均の2,021時間を上回り、年次有給休暇の取得率（平成26年）が42.5%と全国平均の47.6%を下回るなど全国より長時間労働の傾向が見られます。

また、雇用者数に占める非正規雇用労働者の割合（平成26年）は39.8%と全国平均の37.4%より高く、正社員の有効求人倍率（25歳から44歳、平成26年）は66.7%と全国平均の70.8%より低くなってい

ます。

さらに、家族の介護・看護を理由とした北海道の離職・転職者は、平成19年10月～平成24年9月の5年間で、2.1万人に及んでおり、深刻な問題となっています。

そこで、これらを改善するためには、北海道の各地域、農林水産業を含む全ての産業において、「働き方改革」、「非正規雇用労働者の正社員転換・待遇改善」、「女性の活躍推進」、「魅力ある雇用機会の創出」などに取り組むことが重要です。

こうした取り組みにより、雇用の質の向上が図られ、全ての人々が、育児や介護をはじめとしたライフステージの各場面で、健康で安心していきいきと働くことができるようになります。さらに、女性の活躍する社会、若者や高齢者等が能力を発揮できる社会の実現、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）及びディーセント・ワークの実現にも繋がります。また、人材の確保・育成、生産性の向上による地域産業の発展などの効果も期待できます。

私たちは、これらの共通認識を持ち、道内の気運醸成を図るために次の取組を促進してまいります。

また、この共同宣言に賛同いただける地方自治体や各種団体との様々な連携に努めながら、北海道で働

く人々が意欲をもって、その能力を十分発揮し、安心して活躍できる環境の整備に向けて、これらの取組を進め、北海道がより魅力的で元気になることを目指します。

(1)働き方改革

長時間労働の抑制や年次有給休暇の取得を促進するとともに、個々の労働者の生活スタイルに対応できる多様で効率的な働き方などの働き方改革を推進します。

(2)非正規雇用労働者の正規社員転換・待遇改善

非正規雇用労働者については、正社員への転換拡

大、意欲・能力に応じた賃金決定、教育訓練や福利厚生面での改善を進めます。

(3)女性の活躍推進

女性が感性と能力を発揮して活躍できるよう、職域の拡大を進めるとともに、仕事と家庭の両立や、子育て支援・再就職支援等によるキャリアの継続が可能な環境整備を進めます。

(4)魅力ある雇用機会の創出

魅力ある雇用の場づくりや産業振興と雇用対策の一体的な取り組みなどにより良質で安定的な雇用機会の創出を推進します。

業 界 の う ご き

▶**コニカミノルタビジネスソリューション(株)が、コニカミノルタジャパン(株)に会社変更、北海道支店長に横山正氏**
コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社（北海道支店／札幌市中央区南3条西10丁目1001番地5 福山南3条ビル）は、コニカミノルタヘルスケア株式会社が吸収合併し、4月1日からコニカミノルタジャパン株式会社となり、北海道支店長に横山正氏が就任した。

北海道支店の所在地は従来のとおり。

▶**リコージャパン(株)北海道事業本部が北海道支社に組織変更、支社長に小野雅史氏**

リコージャパン株式会社北海道事業本部（札幌市北区北7条西2丁目8番1号 札幌北ビル）は、4月1日から北海道支社に組織変更し、支社長に小野雅史氏が就任した。

印刷の未来を創る！
— ソリューション・プロバイダーへの深化 —



HOPE 2016

HOKKAIDO PRINT EXPO

北海道情報・印刷産業展が生まれ変わりました



2016.9.2.fri ▶▶ 3sat 10:00-17:00

アクセスサッポロ (札幌市白石区流通センター4丁目3番55号)

主催 HOPE実行委員会

北海道印刷工業組合・北海道グラフィックコミュニケーションズ工業組合・北海道製本工業組合・北海道フォーム印刷工業会・北海道紙器段ボール箱工業組合

後援 経済産業省北海道経済産業局・北海道・札幌市

協賛 (株)印刷出版研究所・(株)日本印刷新聞社・ニュープリントニング(株)